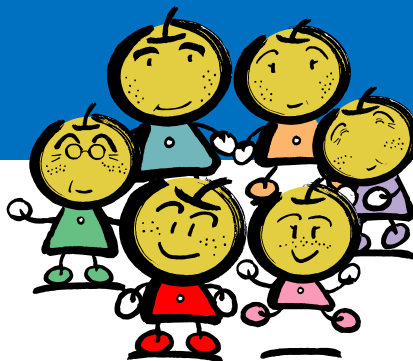


令和6年度 第2回白井市在宅医療・ 介護連携、認知症対策推進協議会

2024.10.3（木）



<目次>

1. 在宅医療・介護連携推進事業、認知症施策

上半期実績報告

2. 認知症初期集中支援チーム上半期活動実績報告

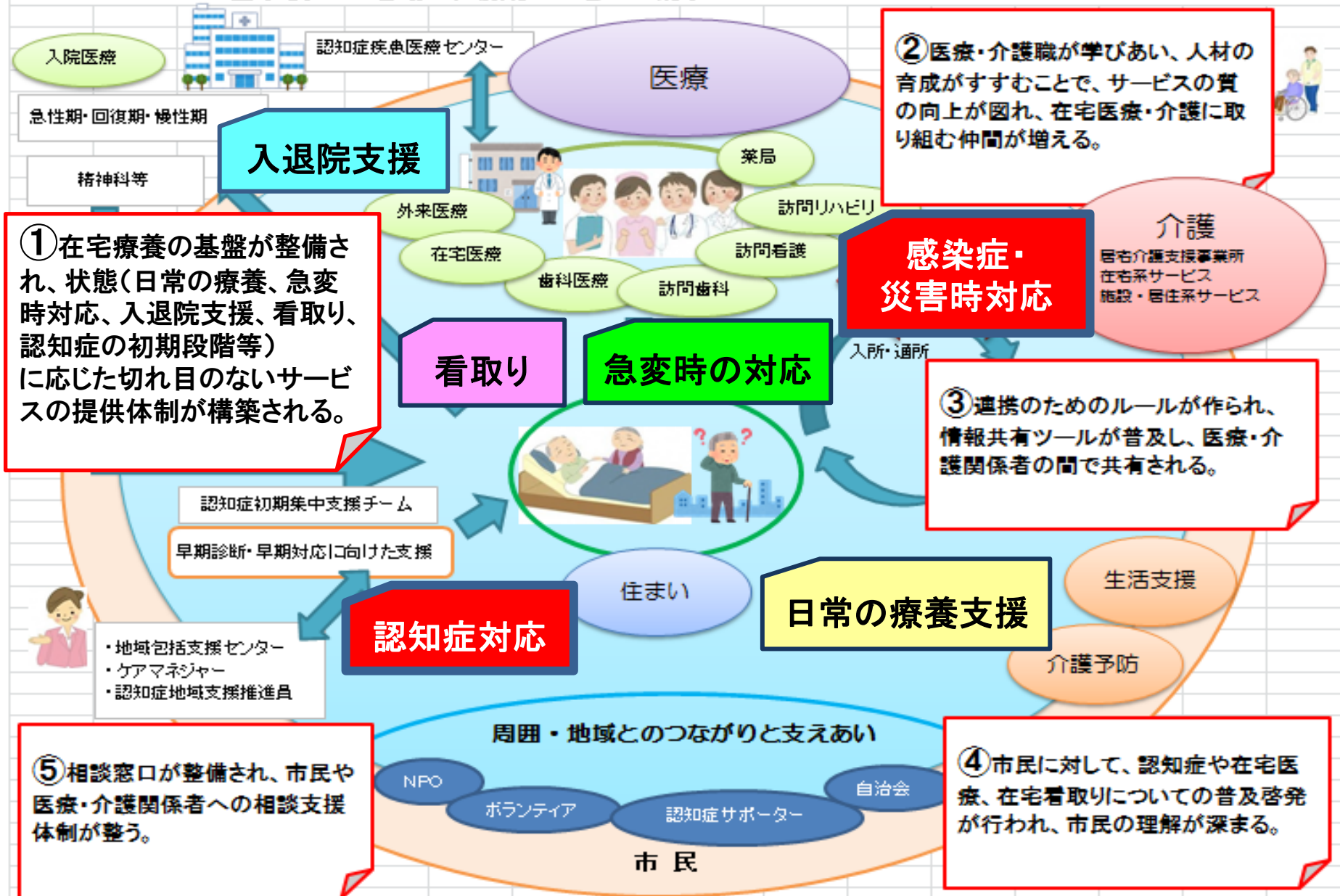
3. 在宅医療・介護連携フォーラムについて

4. 意見交換

「自宅での看取りやACPを知ってもらうための取組」

1. 在宅医療・介護連携推進事業、 認知症施策の上半期実施報告

住み慣れた地域で、最期まで暮らし続けることができるためには・・・



白井市の目指す姿（5つの柱）

令和6年度の事業実施方針

日常の療養支援

在宅医療後方支援制度の普及、情報共有の推進、在宅療養への市民理解促進、在宅医療・介護の連携状況の分析

入退院支援

入退院時連携ルールBookの見直し、在宅医療介護連携フォーラムの開催

急変時の対応

救急医療情報キットの普及、医療・介護・消防（救急）の意見交換会

看取り

終活支援ノートやACPについて市民への普及啓発、介護関係者のACPへの理解醸成のための講座の開催

認知症対応

認知症パートナーの養成・活動、当事者支援・家族支援体制の構築、認知症みまもり訓練の実施

感染症・災害時対応

災害時の在宅療養者への対応検討（関係課、消防(救急)、介護事業所等）

①多職種連携研修会の実施

第1回

認知症支援研修会

認知症支援研修会

日時：令和6年8月28日（水）

午後6時から

講師：日本医科大学千葉北総病院

老人看護専門看護師 齋藤 多恵子氏

**対象：市内の居宅介護支援事業所、訪問看護（リハ）、
介護施設に従事している方**

参加者：22名

（事業所：5か所 訪問看護：1か所

介護施設：1か所 地域包括：3か所）

認知症支援について学ぶ講義

認知症の
種類と症状

心理的特徴

事例紹介

多職種連携
における支援



グループディスカッション(事例検討)

夫と2人暮らしの認知症の女性、薬に抵抗があり
通院せず、ケアマネの訪問やデイサービスは拒否。
夫の負担が強いが、意向がはっきりせずなかなか
サービスにつながらないケース

- ・本人を受診につなげるための対応策
 - ・夫への支援
- に分けてグループごとに話し合いました！

[2 G]

問題点	対応策
・夫が高齢に不安	TEL 厳しい → 訪問、面会の時間 設ける CM 担当の 複数人で訪問 妻、夫が話に聞けず 地域で趣味の時間を設ける。 後から不安感 出さず ペス不足 → アリト等での ペスメント 夫も内容で訪問 文書 M-IV
・夫の意向 CM 方針 伝えない	夫自身の意思が不明 夫の意向がつかめない ← 困っているのか? どのくらい分かるのか? は? 易怒性 子にも相談していない ← 現状を知ることが 面談でも相談 必要。 協力というよりも 必ず知ることが マッサージ?? 認知症や資源の理解 夫人提案している サービスや資源 提供の可否を確認 ・夫が倒れた時の対応 考えられていると伺いに ・認知症への対応や理解、知識 情報提供 ・整体院へ出向き 話を聞く

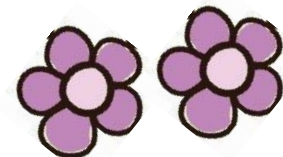
[5 G]

問題点	対応策
・訪問者が 易怒性の2人おれや 自宅に本人が落ち着けず 訪問看護から 支援できているのか	① 内科のDrに相談あり。(神経科外は中絶) ・易怒性の言動整理が必要 = 由服 ・夫には、認知症の薬とは言わぬ、 ④ 気分をいよと抑える薬と言ひする ② 訪問いりいベリによる。マッサージに来せう ・本人には、"訪問いりいベリ"とは言わぬ。 「マッサージの人に来せうことにはたよ」とか ③ 本人のやるまじと(急な話)ではたせうといふ ex CM 訪問時に 話をして 奥の部屋で 2人で聞く。

様々な職種の視点から
色々な意見が出ており、
とても学びの多いワーク
となりました。

アンケートより

- ・認知症について、改めて勉強になった。
- ・病院から離れ、リエゾンチームやフットケアチームなど病院にあった専門チームに相談できないと思っていたので、専門Nsと地域の多職種と関わる時間があつたことに感謝
- ・共有の重要性を実感した
- ・他職種の方の意見を聞き、自分では思いつかない視点や対応があり、とても勉強になった。自分の意見を伝えること、他の人の話を聞くことが大切だと実感した
- ・多角的な視点を知ることができた



②課題別ワーキングの取組

- 入退院時連携ワーキング
- 認知症支援体制ワーキング

令和6年度 検討の体制

在宅医療・介護連携、
認知症対策推進協議会

病院長会議

(在宅医療後方支援
体制)

入退院時連携
WG

認知症支援
体制WG

随時

ICT普及啓発

入退院時連携ワーキング

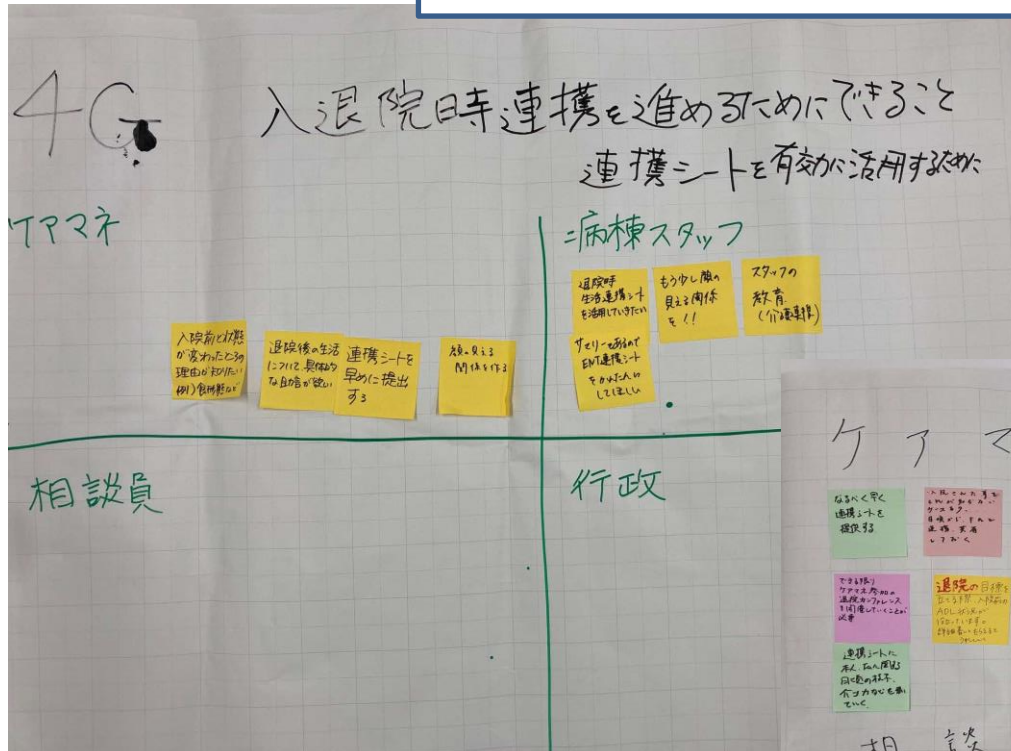
開催日	内 容
第1回 7月19日(金)	●白井市入退院時における医療と介護連携 ルールBOOKの見直しについて ●入退院時における医療と介護の連携について(グループワーク)
第2回 R7年1～2月に 実施予定	(案) ●白井市入退院時における医療と介護連携 ルールBOOKの見直しについて(完成) ●入退院時における医療と介護の連携について～前回ワーキングからの取組状況～ (グループワーク)

グループワークの様子

病院相談員

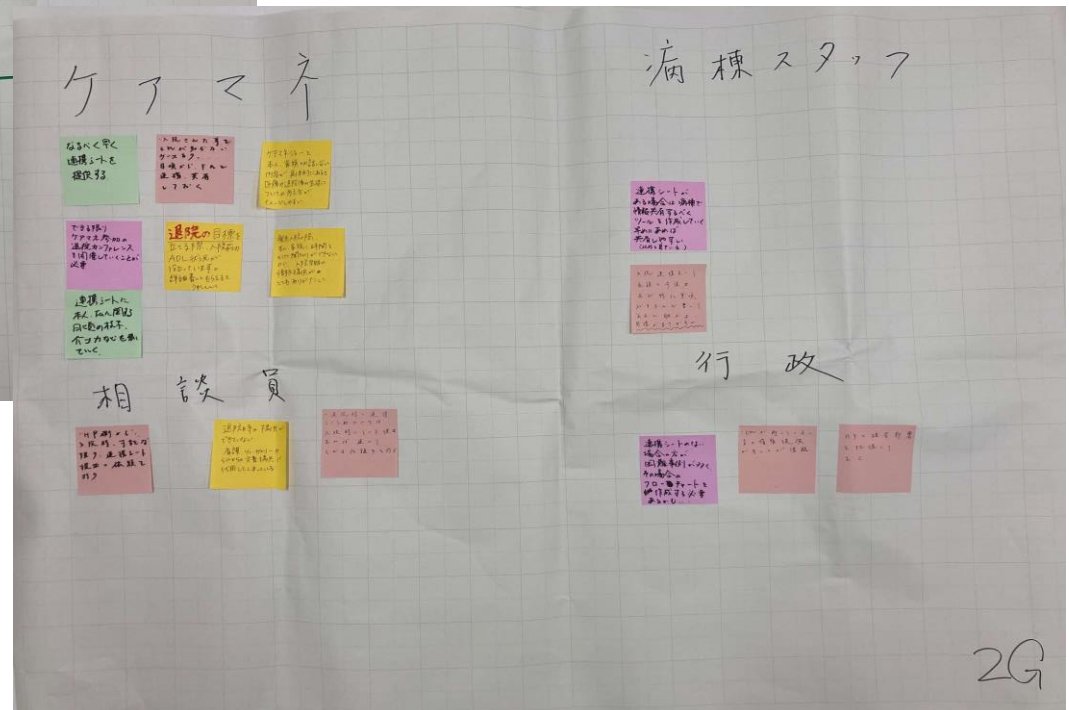
病院看護師

各地域包括支援センター



主任ケアマネージャー

ケアマネージャー



県の入退院時連携シートの活用を中心に、入退院時の連携と現状の課題について共有することができました。

認知症支援体制ワーキング

開催日	内 容
第1回 6月26日(水)	●認知症みまもり訓練に向けた検討 実施場所、実施内容や規模、周知方法、役割 分担や協力者について
第2回 7月10日(水)	●認知症みまもり訓練に向けた検討 日時・場所について、声かけ訓練の内容、 役割分担、振り返りの内容
第3回 8月28日(水)	●認知症みまもり訓練に向けた検討 実施要領と声かけ訓練の実施場所について、 認知症役の設定
第4回 9月19日(木)	●認知症みまもり訓練に向けた検討 訓練の予行演習と最終確認

ワーキングの様子

特別養護老人ホーム施設長

グループホーム施設長

主任ケアマネージャー

各地域包括支援センター

認知症対応型通所介護 相談員

民生委員

地区社協会長



みまもり訓練の流れや認知症役の設定等、様々な立場からの意見交換ができました。

グループワークの様子



認知症役の練習

認知症みまもり訓練

日時：令和6年9月29日（日）

9時30分～12時30分

場所：白井駅前センター

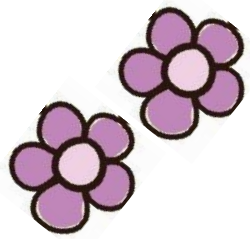
対象：南山小学校区在住の市民30名

**内容：認知症の方への声掛けのポイント等の講座
声掛け訓練、振り返り**

9月は 認知症周知啓発月間

認知症についての展示





③ 日常の療養支援

在宅医療後方支援制度の普及

④救急医療情報キット活用状況

救急医療情報キット配布実績

キット配布数 (2024.4月～2024.8月末)	累計 (2017.12～)
203	6, 121



市内消防署、地域包括支援センター との情報交換会

令和6年6月14日（金）実施

**参加者：白井消防署、西白井消防署、
中央包括支援センター、駅前包括支援センター
西白井包括支援センター、高齢者福祉課**

**内容：①白井市の高齢者の現状について
②高齢者の搬送状況とその後の対応
③救急搬送時の情報提供における課題**

印西地区消防本部との情報交換会

令和6年9月26日（木）実施

参加者：印西地区消防組合

印西市役所 高齢者福祉課

白井市役所 高齢者福祉課

- 内容：**
- ①救急医療情報キットの普及状況について**
 - ②救急搬送現場におけるキットの活用実績**
 - ③地域包括ケアシステムの構築に向けた
消防署との連携**
 - ④救急医療情報シートの見直しについて**

2. 認知症初期集中支援チーム 上半期活動実績報告

資料

「認知症初期集中支援チーム令和6年度上半期活動実績」

3. 在宅医療・介護連携フォーラム について

白井市在宅医療・介護連携フォーラム

(案)

**テーマ：「(仮)在宅での看取りと人生会議
～自分の人生の最期について考えてみよう～」**

日時：令和6年12月12日(木)

14時00分～15時30分

場所：白井文化会館かおりホール(中ホール)

対象：市民80名

**内容：①講演…訪問診療について、在宅での看取りの
現状、人生会議について**

②もしバナゲームの実施

4. 意見交換

「自宅での看取りやACP(人生会議)を知ってもらうための取組」

～「人生会議」ACP（アドバンス・ケア・プランニング）～
もしものときのために、自身の大切にしていることや望み、
どのような医療やケアを望んでいるかについて考え、信頼する
人たちと話し合っ共有すること。

次回会議日程

令和7年2月6日(木) 午後2時～